

伊豆の国市環境審議会の運営等に関する委員意見の取りまとめ

1. 令和3年度環境審議会実施日時

日時：令和4年3月23日(水)

場所：伊豆の国市役所 大仁庁舎2階 第1・第2会議室

2. 委員意見一覧

	委員発言	市回答
1	委員に求められていること等、委員としての役割を明確にしたい。	市で策定した計画案を審議会へ諮問し、審議を通して答申をいただきます。
2	市単位の環境政策は国、県の政策から独立しているものなのか。	市は国、県の施策に準ずるが、地域性を考慮した取組についても検討していきたい。
3	現在の計画の取組状況や温暖化に関する基本的な知識について、委員の間で情報共有をしてもよいのではないかな。	今後、審議をしていただくに当たり、委員間での情報共有は必要であると考え、そのような場を設けるように検討したい。
4	市の地域環境についても認識を共有してもよいのではないかな。	
5	市民の環境に対する理解はまだ十分ではないのではないかな。特に小中学生等若い人に直感的に伝わるような体験がよいのではないかな。	水生生物観察会を小学生と実施している。新しいごみ焼却施設にごみの処理方法を学べる見学施設を併設する。
6	市は毎年エコアクションの取組の中で事務事業から出るCO2排出量を把握しているが、市民への周知が十分でないのではないかな。	毎年報告書を作成し、ホームページに掲載している。
7	市民は現在の計画の中身を知らないのではないかな。もっと市民に周知してはどうか。 子供目線で環境教育について考える必要があるのではないかな。	実際に環境への取組をしてもらう市民への啓発は大切であるため、方法を検討して努めていく。審議会を傍聴してもらうのも周知の一貫である。 現在の計画の中にも環境教育の指標がある。